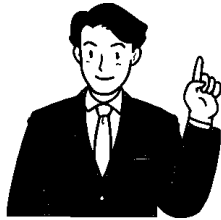


5. 企業からの声

A 社



【海老名ＩＣ開通による効果】

- ・商品の配送はトラック輸送が主であり、厚木ＩＣから海老名ＩＣへ利用ＩＣを変更したことにより、３０～４０分（片道）の時間短縮が図られた。
- ・特に大手ナショナルチェーンでは納品期限が厳しく、確実な納品を達成するために高速道路を利用するので、時間短縮の効果はうれしい。
- ・（配送車両の海老名ＩＣ利用台数：６３台／日（９／９実績））

【圏央道延伸への期待】

- ・関越自動車道などへは、首都高速道路を経由しているルートから、圏央道のみでのアクセスが可能となることから、搬送におけるさらなる時間短縮に期待する。



首都圏における高速道路ネットワーク

ナショナルチェーン：全国的規模で複数の地域にチェーンストア網を確立している飲食・小売企業。

B 社



【海老名ＩＣ開通による効果】

- ・商品の配送や原材料の仕入れ、営業活動等において、厚木ＩＣから海老名ＩＣへ利用ＩＣを変更したことにより、２０～６０分（片道）の時間短縮が図られた。
- ・自社工場間の商品搬送入（関西・名古屋・東北）、原材料の搬入（関西・名古屋）における広域搬送でも高速道路を多く利用している。
- ・商品は神奈川全域、静岡、東京西部、山梨へ配送しているが、納品期限が厳しいため、時間短縮の効果はうれしい。
- ・ドライバーからは、「一般道の渋滞を通過しなくてよいので、疲労やストレスが軽減される」といった意見が多い。
- ・（配送車両の海老名ＩＣ利用台数：６１台／日（９／２実績））

【圏央道延伸への期待】

- ・圏央道延伸の効果は大きい。配送先が埼玉、新潟、長野にもあり、中央自動車道、関越自動車道とのつながりにより、ＩＣ利用だけではなく搬送ルート自体の見直しが考えられる。

物流等に関するデータは、各社へのヒアリング調査、実態調査の結果を基に作成。